

# 北海道室蘭聾学校グランドデザイン

－ 令和7年度（2025年度）学校経営の方針 －

学校教育目標

明るい子供（生きたことばを身につけた明るい子供）

強い子供（丈夫な体と強く豊かな心をもつ子供）

考える子供（自分の考えをもち進んで学ぶ子供）

学ぶ喜びを知り、学ぶ力が身につく学校  
キャリア発達を促し、社会性が育つ学校  
学習する環境が整った学校  
ろう教育にかかわる専門性が確立した学校

**子供たちが**

明日  
行きたくなる学校

激動の社会へと出ていく子供たちのために  
そして まだ見ぬ子供たちのために

**教職員が**

明日  
行きたくなる学校

互いの価値観や考え方が尊重され、  
日常的に建設的な議論が行われる職場  
個々の事情を包含しながら、  
一人一人が生き生きと働くことのできる職場  
主体的かつ協働的に働くことのできる職場

**保護者が**

通わせて良かったと  
思える学校

子供の育ちが身近に感じられる学校  
取組の意義や目的が理解されている学校  
信頼し積極的に協力したいと思える学校

**10年後も地域になくってはならない学校**

- ・センター的機能が充実している学校  
「地域の聴覚障がい児と保護者への支援」  
「聴覚障がいに関わる理解啓発」  
「聴覚障がい教育の専門性発信」
- ・学校の取組の魅力が保護者や地域に確実に届けられている学校
- ・教育活動に対する説明責任が果たされている学校

令和7年度  
経営の重点

- ①法規法令、学習指導要領に基づく教育の実施
- ②学校経営方針を踏まえた従前の取組の見直し
- ③クリエイティブ思考により新たな取組を創造

# 学校教育目標が掲げる三つの子供像

生きたことばを身につけた明るい子供

## 明るい子供

必要な時に適切に「使うことのできる」ことばを身に付け、他者と共に前向きに生きていくことのできる子供

丈夫な体と強く豊かな心をもつ子供

## 強い子供

人生百年時代を健康に過ごし、時には逆境や不測の事態に対峙したとしても、強く逞しく向き合いながら生きていこうとする強く豊かな心をもつ子供

自分の考えをもち進んで学ぶ子供

## 考える子供

時には自らの考えや立場を他者に伝え、時には他者と折り合いをつけながら、社会の一員として自らの役割を発揮していくために、学び続けようとする子供

教職員が  
明日  
行きたくなる学校



保護者が  
通わせて良かったと  
思える学校